

取材で分かった意外と知らない「ツウな情報」を、お伝えします。

# コレ知ってたら又桑名通

kuwana tsu!

## うれしい飴こぼれ話

！今も昔も主役は子ども  
浄土寺の昔話「うれしい飴」は、アニメ「まんが日本昔ばなし」で何度も放送されテレビで見たことがある人も多いのではないのでしょうか。この昔話にちなんで浄土寺では、毎年8月23日・24日の地藏盆にうれしい飴を販売しています。売り子は今も昔も子どもたちが行っています。参加している子どもたちは毎年楽しみにしているそうです。

！三重の昔話にもなっています  
三重県小学校国語教育研究会編著の「読みがたり三重の昔話」には三重県内の地域で語られる昔話が掲載されています。その中にも桑名の「うれしい飴」のお話もありま

す。中央図書館・長島輪中図書館で貸し出ししていますので、ぜひ読んでみてください。

！子どもたちの楽しみはあめ？ ゆうれい？  
地藏盆に浄土寺に集まる子どもたちは、素朴な味のあめを求めて来ている子もいれば、本堂の隣の初代桑名藩主本多忠勝公のお墓もある、うす暗い墓地でうれしい探し？（肝だめし）をしたくて来る子もいるそうです。毎年たくさんの子もたちでわざわざ地藏盆に行ってみてはいかがでしょう。

イラスト 市民編集員 櫻井 暁子



イラスト 市民編集員 櫻井 暁子

## 市長がふれる！

# 本物力

No.20

桑名市 女性消防団



今月の特集は「桑名市女性消防団」です。

消防団は大切な存在です。消防団員は普段はそれぞれの職業についていますが、地域における消防や防災のリーダーとして、災害発生時には住民の安心と安全を守るという重要な役割を担います。

災害発生時の活動には危険が伴うため、消防団員はどうしても男性が中心になるのですが、桑名市には女性が活躍する消防団、いわゆる「女性消防団」があり



女性消防団の皆さん

ます。30代から60代まで、会社員や主婦、看護師、介護に携わる人など年齢も職業もバラバラですが、後藤団長以下、防災への強い思いを持った10人の女性消防団員が元気に活動しています。

消防団の活動は、災害発生時だけではありません。いつ発生するかわからない災害発生に備え消防車の操法訓練や水防訓練などに普段から取り組んでいるほか、消防や防災についてのPR、地域の自主防災訓練時の指導など実にさまざまな活動があります。そのなかで女性消防団には「女性ならではの」の視点を生かせる分野で活躍していただいています。

私も、応急手当として、買物袋を利用して骨折時体を固定する方法を教わりました。身近にあるものを

工夫して利用するという視点は大切ですよ。

最近全国的に女性消防団の活動が活発化してきています。その中でも桑名の女性消防団は、いろんなアイデアを出しながら積極的な活動を行い、三重県代表として全国大会や世界大会にも参加し、団の活動報告や桑名市のPRもしてくれています。これからも大いにがんばってほしいと思います。

女性消防団は、いつでも団員募集中です。地域の安心を守るために活動したいという気持ちがある女性であれば誰でもできます。わたしもやってみたい！という人がおられましたら、ぜひ消防本部総務課までご連絡ください！

問 消防本部 総務課  
☎ 24・5273  
FAX 24・5287